

令和3年度第1回美祢市行政改革大綱推進委員会 会議録（概要）

日 時 令和3年8月6日(金)10時00分～12時00分

場 所 本庁3階 委員会室

出席委員 仲間瑞樹委員、井上静夫委員、下松富二夫委員、宮崎義明委員、山田悦子委員、山崎晶子委員、河村裕之委員、高木 学委員、品川智宏委員、梨木教史委員、向山久高委員

事務局 デジタル推進部 田辺部長、デジタル推進課長 竹内  
デジタル推進課情報政策班 藤本班長

1 開会

2 会長あいさつ

3 新任委員の紹介

4 副会長の選出 品川委員を選出

5 議事

(1) 第三次美祢市行政改革大綱の令和2年度の進捗状況報告について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)

委員	効果額△5億の理由について詳細を確認したい。
事務局	コロナの影響により、既定の事業についても増額となったためである。
委員	マイナンバーカードの普及率について
事務局	申請時点での集計ではおよそ40%である。
委員	今後の秋吉洞の観光施策の方向性について
事務局	秋芳洞・台・商店街が一体となった振興策が必要と考えている。
委員	財源確保の観点から広告収入及びふるさと納税には力を入れるべきである。低調な理由を確認したい。
事務局	ふるさと納税については、返礼品の魅力が低下していることが最大の原因と考えている。今後は、返礼品の魅力アップを図りたい。

- ・委員からの提言  
今までの「ふるさと納税」ばかりに注力せず、企業版ふるさと納税(法人税)を推進すべきである。

(2) 第三次美祢市行政改革大綱実施計画の一部変更について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)

委員	公共施設マネジメントの推進がデジタル推進課の所管となっている理由は？
事務局	この度の組織改編でデジタル推進課が行政改革を所管することになった。公共施設マネジメントはまさに行政改革の取組そのものであると考えているからである。

- ・一部変更について承認

### (3) DX推進計画及び公共施設等総合管理計画の審議スケジュールについて

・資料に基づき事務局から説明

・委員からの質疑(要旨)

委員	DX推進にあたり、人材育成は非常に重要であると考えている。事務局の考え方を伺いたい。また、専門的な人材登用については？
事務局	DX推進本部の設置にあたり、各所属にDX推進員を設置し、研修を実施している。なお、DX推進員は、若手職員を中心に構成している。DX推進アドバイザーとして総務省地域情報化アドバイザーの北九州市職員に就任いただいている。本庁舎整備アドバイザーとしての経験もあり、本市の事情にも精通しており、最適な人員であると考えている。
委員	デジタル化とDXは違う、真のDX推進の取組を期待する。事務局の考えは如何に
事務局	DXの本質を全庁で理解し推進していく考え。
委員	DX推進にあたっては、高齢者や障害者にもやさしい使いやすい仕組み作りの配慮が必要と考える。
事務局	高齢者や障害者に配慮した仕組みづくりを進める。また、多くのサービスはマイナンバーカードの普及が進まないとな達成できないと考えている。高齢者の方にも普及が進むような取り組みをしていきたい。
委員	公共施設等総合管理計画について、アクションプランの位置づけは？
事務局	本市の施設について、種別に分け今後の大きな施設の方向性を定めたものである。

・委員からの意見

DX推進は、他の事業と同様に広域で行うことで、さらに大きな効果が得られるのでは？  
そういう取り組みを期待する。